

水族園の目指す姿

楽しみながら海や川・池沼の自然への認識、水生生物についての科学的理解を深めることで、「人と生きものと水」の関係を結びなおし、伝え、紡いでいくと同時に、新たな水族園につなげていく。

- ・生態から食育まで楽しく学べる水族館

生態や生息環境、水産資源の持続可能な利用等、多様なテーマのもと、多くの都民が楽しく学べるプログラムを実施

- ・東京湾から外洋、世界各地の海の生態をいきいきと再現する展示

世界で初めて成功したクロマグロ群泳展示をはじめ、世界各地の海や水辺の生態について、その魅力や多様性を発信

- ・海と人とのつながりを情報発信

海洋生物の多様性と海洋環境保全の重要性に関する普及啓発の取組のさらなる充実

- ・海洋生物研究の拠点

大学や研究機関等との共同研究を継続発展させ、海洋生物等の繁殖研究を一層推進

- ・ポストコロナを見据えた社会の変化に柔軟に対応

デジタル技術を活用し、安全な観覧環境やオンラインでの情報発信や教育普及等の推進



都立動物園・水族園の管理運営における基本理念

都立動物園・水族園に求められる機能と役割、及び都が定める「第2次都立動物園マスタープラン」「改定パークマネジメントマスタープラン」の実現のために、当協会は3つの基本理念に基づき、4園一体となって管理運営に取り組めます。

上記を実現するための当協会の「3つの基本理念」

- ・展示の工夫と快適な観覧環境の提供による、楽しみながら学べる動物園・水族園の実現
- ・国内外の動物園や研究機関との協力による、野生生物保全への貢献
- ・公益法人の制度的特性を活かした、公益性と経営感覚をあわせもった施設運営

当協会は3つの基本理念に基づき、「4つの取組」を推進します

動物を「まもり、育てる」取組

動物のことを「伝える」取組

「ようこそ」の心を表す取組

「経営感覚」に富んだ取組

指定管理者の責務

多様性と調和の実現を目指し、持続可能な社会の発展に向けて、自らの社会的使命を果たすための取組を積極的に推進します。

- ・障がい者への合理的な配慮

ユニバーサル社会の理念に基づく、だれもが利用できる水族園の実現

- ・環境負荷の低減

事業活動にともなう環境負荷低減の取組を推進

- ・危機管理体制の構築

自然災害等のリスクに対する迅速かつ適切な対応

- ・ポストコロナを見据えた対応

新型コロナウイルス感染症等への万全の備え

- ・コンプライアンスとガバナンスの徹底

法令等の遵守を通じた、都民に信頼される組織運営



飼育展示・野生生物保全・教育普及

●快適な観覧環境と魅力的な展示

・快適な観覧環境を実現するための取組

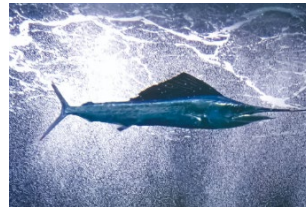
手話対応や多言語対応による多様な来園者への対応、キャッシュレス決済やオンラインによる情報発信、暑さ対策等により快適な観覧環境を実現

・生態や生息環境の再現や魅力ある展示の実現

体感型展示や展示改善、環境エンリッチメントの活用、動物福祉への配慮等による魅力的な展示の工夫

・水族園の更新に向けた展示開発

新水族園に向けた飼育技術向上や設備開発、生物収集等の積極的な取組の推進



採集と輸送に成功したバショウカジキ

●適正な動物飼育と技術向上、繁殖研究に関する取組

・適正な動物の管理

日常飼育業務、動物病院業務、動物移動収集業務、動物管理業務等の適正な実施

・繁殖技術を確認な継承と高度な技術の維持発展

マニュアル作成等による技術の確実な継承と積極的な動物関連情報の収集

・国際交流の推進に基づく保全への貢献

国際的な水族館組織との連携の強化、先進技術の導入、国際計画への積極的な参加

●野生生物保全への取組

野生生物保全センターを中心に、第2次ブーストック計画に基づいて実施する生息域内外の保全活動や普及啓発、生物工学の活用等、希少種保全の積極的な推進



繁殖したオウサマペンギン

●教育普及活動に関する取組

生物や保全に関して培ってきたノウハウとデジタル技術の活用による教育普及活動のさらなる充実

●質の高いサービスの提供

繁忙期の開園時間の延長や、若手職員から成る「サービス向上委員会」の活用、キャッシュレスの推進、感染症に伴う臨時休園時のオンライン情報発信等、質の高いサービスの提供



幼児向けの団体教育プログラム

都民協働・地域連携

都民や地域等との関係を一層深め、多様な主体との協働・連携を強化し、今後も地域価値向上に努めます。

・都民との協働

ボランティア団体とともに実施する環境教育の充実や、都民から得た情報を活用したメダカ調査と保全の取組

・教育機関や研究機関等との連携

学年別教育プログラムや教員セミナー等、教育機関と連携した普及活動の充実、ならびに大学や研究機関との共同研究の推進

・地域や他団体との連携

近隣公園との普及活動や生物調査、自治体等と進める地域活性化、地域団体等と実施する防災対策、他水族館との友好協定等による連携の強化



ボランティアによるガイド

東京2020大会レガシーの継承と充実

東京2020大会が掲げた「多様性と調和」の理念を継承し、開催に向けて実施してきた取組を引き続き充実させていきます。

・外国人来園者に向けた情報提供

外国語会話能力の向上や映像通訳サービスの活用、園内掲示の多言語化等の実施

・多様な利用者に配慮したユニバーサル社会の実現

手話対応体制の強化や、移動水族館等のアウトリーチによる多様な利用者への対応

・DXの推進

キャッシュレス決済の拡充やデジタル技術を活用した教育活動等のDXの推進



移動水族館での生物観察

施設維持管理

・都が定める「都立公園の維持管理技術指針」に則った、安全で快適な観覧環境の維持
・自然災害をはじめ、様々なリスクに対する危機管理対策の適切な実施